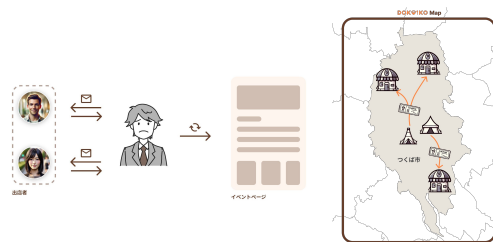


## 背景・目的

現状のイベント情報配信は、出展情報の収集と配信作業において主催者の負担が大きいという課題があります。主催者の負担軽減と網羅的な情報配信を両立するシステムを開発し、暮らしやすい街づくりへの貢献と、周辺市街地（R8地域）の周遊性向上を目指しました。

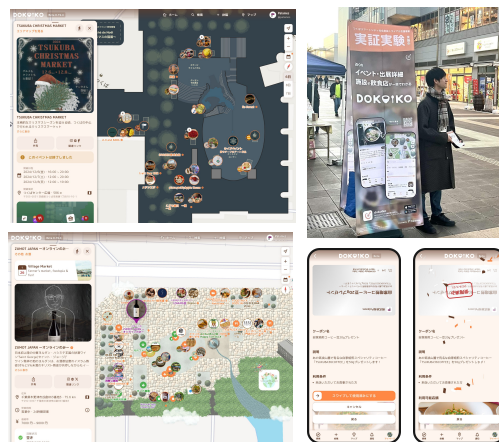


## 実験内容

① イベント情報配信システムの導入試験と、② 来場者への電子クーポン配布の2種類の実験を実施しました。

①では、複数のイベント主催者と出展者に対して、Palamesが構築したデータ連携システムやデジタルマップへの情報登録を依頼し、課題点の洗い出しと意見の収集を行いました。

②では、R8地域の飲食店で使える電子クーポンを同システム内で3種類配信し、利用データの計測と課題点の洗い出し、意見の収集を行いました。



## 実験（検証）結果

「人手不足で来客増に対応できない懸念」などを理由として、飲食店への電子クーポン協力依頼に苦戦しました。結果的には7店舗の飲食店にご協力いただき、利用者からは「子供連れでも気軽に入れるお店があるといい」などの声や、83%の方がクーポン内容について「3種類程度で高割引率の内容（今回と同様）が嬉しい」と回答しました。

イベント主催者からは「出展詳細やデジタルマップを簡単に配信できる点良かった」「出展登録のわかりやすさやこだわりの配信機能を強化してほしい」といった声や、来場者からは「マップから知らないイベントが見つかった」「事前にイベントの雰囲気を知れた」などの声をいただきました。

電子クーポン協力飲食店  
7店舗

協力イベント・施設団体  
5団体

デジタルマップ配信数  
22マップ

出展登録件数  
139出展

## 今後の展望

### ステップ0

一部イベントでの情報収集・配信試験



### ステップ1

周遊性向上の仕組み作り

### 今回の実証実験範囲

### ステップ2

対象イベント・体験を拡大



### ステップ3・最終ビジョン

地域全体のイベント・体験を繋ぎ、地域全体を活性化